

「すご技!やまぐち」 コーナーオープン

「すご技!」展示の様子



「ほっとやまはく」
タイム⑤2



ユニークな 製品を紹介

①釣り糸バスケット

(製作・サンライン、岩国市)

強度や太さの違う2種類の釣り糸で作られたネットの上に、発射レールが設置してあります。ネットで跳ねたボールがうまくゴール容器に入るように、レ



②テンセグリティ

(製作・ジャパンファイナ
スチール、山陽小野田市)

テンセグリティとは、「張力」という意味の「テンション」(tension)と「完全性」や「整合性」という意味を持つ「インテグリティ」(integrity)を掛け合わせた造語で、写真のような不思議な構造物(オブジェ)に付けられた名称です。上下の木製の構造物は4本のワイヤによってバランスよく引っ張られています。真ん中の短いワイヤには髪の毛くらいに細いワイヤが使われており、まるでワイヤが無いように見える

ールの角度やボールを置く位置を調整し、ボールを転がす体験展示です。

サンラインは、釣り糸の世界ではトップメーカーの一つとして知られています。用途に応じたさまざまな釣り糸を開発・製造しているだけでなく、それらで培った技術は、衣料品やスポーツ用品の製造にも利用されてい

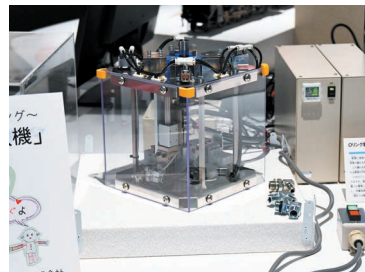
ため、上部の構造物が宙に浮いているように見えます。この構造物、どこをどう引っ張って力の釣り合いを取っているのか、ぜひ考えてみてください。

ジャパンファイン

スチールはソーワイヤを製造している会社です。ソーワイヤとは、半導体や太陽電池などに使われるシリコンなどを、薄さ1ミクロン以下の円板に加工するとき

③Oリング 自動挿入機

(製作・富士高圧フレキシブルホース、光市)



配管に使用される継ぎ手には、液体や空気などの流体の漏れを防ぐためのシール機能が

▼はじめに

10月19日、県立山口博物館では「すご技!やまぐち」コーナーをオープンさせました。このコーナーは、ほっとやまはくタイム9号(2022年2月24日掲載)で紹介した「すごおもちゃ」コーナーの後継展示に当たり、次代を担う子ども

ます。また、最近では、プラズマを照射することによって、特殊な糸を作り出す技術にも力を入れています。



使われるワイヤです。毎月240万ギ(地球60周分)のソーワイヤを生産しています。切り出される円板の表面は、ちよつとした凸凹も許されないので、切り出すワイヤ自体もとても精密に作られています。難しい加工を現するため、新たな技術に挑戦し続けてきたおかげで、今では世界のトップメーカーとなっています。

必要です。この漏れを防ぐ部品の一つに、Oリングと呼ばれる断面が円形でリングの形状をした部品があります。このOリングを継ぎ手に取り付ける方法はいろいろあります

が、富士高圧フレキシブルホースでは、誰でも簡単に確実に取り付けができる装置を開発し、作業効率を飛躍的に向上させました。富士高圧フレキシブルホースは、工場や工

たちに、ものづくりの仕組みや県内企業の技術力を分かりやすく学んでいただくコーナーです。幅広い業種のものづくり企業を「おもちゃ」という形にこだわらず紹介するために設置しました。どのような展示があるのでしようか。以下で紹介していきます。

事現場などで使われるさまざまな機械に必ず使われている油圧・水圧・空圧機器用のフレキシブルホース、パイプおよび継ぎ手製品の設計開発から製造販売を一手一貫体制で手がけている国内唯一の企業です。設計開発から製造販売まですべてを行っているので、作業環境や条件の違うさまざまな工場や工事現場などからの難しい要望に応えることができるのです。

▼おわりに

本コーナーでは、これまで述べた展示資料以外にも、各社の技術力を示すユニークな製品をケース内で展示しています。また、12月から出展企業の皆さまや学芸員の解説を交えながら体験する「すご技!体験会」を毎月第4日曜日に開催する予定です。当館に足を運んで県内技術の素晴らしさに接してみませんか。

漁剛志(学芸課長、理工部門担当学芸員)
▽次回は12月6日です。

山口県立山口博物館
TEL 083-922-0294
月曜休館(祝日の場合は翌日)。最新情報はホームページで。

